

## 第3回市民ふれあいトーク「児島地区の個性と魅力を伸ばすには」会議録

平成20年11月21日（金）18時～

児島支所 202 会議室

＝市長あいさつ＝

お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。この「市民ふれあいトーク」も3回目ということになりました。各地区のことやテーマを決めて行っております。今日は、「児島地区の個性と魅力を伸ばすには」ということですが、その他の事でもかまいません。ただ、私としては地域の皆さんの声や児島を外から見た場合にこうしたらいいのではないか、などということをお教えいただければありがたいと思います。1時間半と時間は短いですがどうぞよろしくお願いいたします。

「まちづくり」と「産業・観光」ということで、今日は児島支所の大嶋支所長とまちづくり担当の中川参与にも参加をしてもらっています。大嶋さんは観光の担当もしていましたし、中川さんは下水建設、今はまちづくり担当の責任者をしておりまして、まちづくり交付金の担当なども来ていますので、答えられないことがありましたら手伝ってくれると思います。

＝意見交換＝

《参加者》 若い世代から高齢者がともに考え交流できる地域づくりが必要なのではないかと考える。そのために、まちを活性化させることと、コミュニケーションセンターのようなものが必要だと思う。また、市民病院もまちづくりの核になると思う。一箇所ではいろいろなことができ、交流できるコンパクトなまちづくりが必要。それについて、私たちもできるだけ協力をしたい。

《参加者》 この街は昔はにぎやかな街だった。まちづくり交付金で道路がきれいになったが、アーケードがなくなり雨宿りの場所や日陰がなく不便になったように思う。もし、ひさしなどをするなら統一感のあるものやジーンズを利用したものなどにしたり、閉めたシャッターにはキャラクターやテーマを決めたイラストを公募で書いてもらえばお金もかからない。そういったことでまちがにぎやかになるのでは。また、児島には面白いところがたくさんあるので、外から見た面白いところを掘り起してみたらどうか。鷺羽山から下津井にかけてはあまりよくない。

《市長》 市民交流センターがどういうふうなものになるか関心を持っていただいてあ

りがたいと思います。市民交流センターについては、まちづくりに関心を持っていただいている方に何度も集まっていただき、今の場所のほうがいいといわれるかたが多いのでそちらを基本にして年末ぐらいを目途に組み合わせを検討しているところです。例えば、文化センターはもともととはとてもいい建物ですが、座席や耐震のことなどを含めて検討しなければならないと思います。架橋記念館は全国でみても珍しい建物で、それがまた、児島の特色にもなっていると思う。架橋記念館からは形を変えた使い方になっているが、これも時代の流れで地域の皆さんが使いやすいようにするのが一番だと思います。両隣には土地もあり中銀との間の道も含め、あの地域一帯が児島の賑わいの中心になれば一番良いと思います。12月には組み合わせができ、2月上旬に皆様に発表、国から4割の補助金が出るまちづくり交付金の期間が平成22年度までなので、それに間に合えばなるべく多く入れていくようにしたいと思います。そこだけではなく、鷺羽山のエレベーター建設中止のことが多く取り上げられていたと思いますが、中止したことは、業者の方には申し訳なく思います。駐車場をつくったり残りのお金があれば、例えば現在あまり使われていない下津井のほうへいく道をハイキングが出来るような整備にまわせたらいいいのではなど、賛成の方も反対の方も鷺羽山にたくさんの方が来てもらいやすいようにという思いだったと思います。

商店街のアーケードは商店街の方から要望があって取ったのですが。

鷺羽山は日本で最初の国立公園で、松の木一本切ってはいけないというのを聞いたことがあります。運転をしているときにも景色が見えたり出来るよう環境省にも働きかけるなどしたいと思います。

《参加者》 旧児島高校の建物やグラウンドをもっと活用できないか。文化センターと連動させ使い方を考えてみたら良いと思うが。

《参加者》 道路になる予定だとか、一部はナイカイの土地だとも聞くが・・・。

《参加者》 琴浦高校のところは何か予定は？

《市長》 いまのところありません。

《参加者》 鷺羽山ビジターセンターを県はやめたいといっているがどうなるか。

《市長》 相談ということになっていますが・・・

《参加者》 鷺羽山については自然保護と景観をマッチングさせることもいいのではない  
か。昔は松が小さくて非常に景観がよかった。ビジターセンターも費用等検討  
の必要があるが、残す必要があるのでは。以前観光ガイドのボランティアをし  
たことがあるが、人の交流ができる観光地をつくらないといけないのではない  
かと思う。ぜひ観光ガイドを育ててほしい。

《参加者》 美観地区へ行く機会が多いが、外国から来られた人は地元の人に声をかけら  
れたり、自分の国のことを話したりすることをととても喜ぶ。閑谷学校で高校生  
がガイドをしているのを見たがガイドをするほうも歴史などを勉強する機会に  
なりいいことだと思う。倉敷には観光ボランティアがいるが児島にもいてもい  
いのでは。

《市 長》 観光地での地元の方とのつながりは大事だと思います。私も地元の方にお世  
話になったことがきっかけでその場所への勤務の希望を出し配属になったとい  
う経験があります。

《参加者》 市立短大をもっと活用するべきだと思う。ボランティアなどやこういったふ  
れあいトークなどの場に短大の方が出て来ない。4年制の問題でも自分たちが  
主張しないといけないと思うが。

《参加者》 王子が岳など、玉野市だ倉敷市だといわないで地元の人が掃除などすれば良  
いと思う。

《参加者》 市立短大は地元との交流、接点がほとんどない。学生は、外から来てここで  
学び帰っていくという感じ。市の税金が費やされている地元大学のメリットが  
ないように思う。

《市 長》 市立短大はもともと児島で働く人が保育の資格をとれるようにというものだ  
が、例えばファッション関係で、地元の繊維産業ともっと連携をしていくこと  
も4年生の大学になる前に必要だと思います。

《参加者》 お金がない、お金があったらということだが「地域通貨」は世界各国で地域  
の活性化に成功しているしくみ。マイナス利子なので持っているより使うほう  
が得で、運転の出来る人と運転が出来ないが出かけたい人との間で使われるな  
ど、元気が出るとか人との交流が出来るなどのよいところがある。法定通貨と  
のバランスが崩れたときにデメリットはあるが、ここで成功したら全国に展開

できる。

《参加者》 消費者や特に子どもに生産の過程をPRしたり見せたりするとたくさんの方の手を経て物が出来るのだと関心を持つと思う。繊維に対しても関心をもつのでは。

《参加者》 興味は確かにもつと思うが、大人たちと子どもたちのつながりが無い中で子どもたちに見せても、見抜く力のない子どもたちに根付かないと思う。それがファッションのことになるとさらに難しいのではないかな。

《参加者》 子どもに教えるのは面倒だといわれたことがあるが、ミシンを踏むことだけでもいいのではないかな。

《市長》 経験はいいことだと思います。児島が勝ち抜いていくには新たな発想も必要だと思います。児島はやろうと思えば何でも出来る土地だと思います。

《参加者》 市民病院はどうなっているか。

《市長》 少しずつ改善してきています。産婦人科の医師はなんとか次の方が決まるまでと延長していただいていますし、内科の医師も交渉が佳境に差し掛かっています。市民病院は倉敷市内全体として非常に重要な位置づけで、市内の医師会も動いてくださっているのもうすこしで一山超えられそうかなと思っています。体制が整ったら是非皆さんに行っていただきたいと思います。

《参加者》 児島駅前の工事は安心した、放って置かれるのかと思っていた。

《市長》 少し遅れ気味ですが、年度内にとがんばっていますので・・・。

《参加者》 4年前の台風の時実家が水没したが、周りの方やボランティアの方に助けられ人の輪の大事さに気づいた。児島の暖かい人柄に気づき児島にまた住みたいと思っている。インターネットのミクシィに「児島好き 集まれ」というものがあるくらい児島好きな人が多いのかと思う。でも今日はあまり人が集まっていないようで・・・ その中で話題になっていることに病院のことがあって、骨折したときに児島の病院で治療が受けられず倉敷の中央病院へ運ばれたということで、児島の方が児島で医療を受けられないのは残念だと思った。

《市 長》 玉島も乙島まつりもつながりが強いですが、児島は特に地域の方のつながりが格段に強いと思います。例えば 鴻八幡宮のお祭りとか。

《参加者》 「ふれあいトーク」の参加者が少ないのは）広報が足りないのではないかな。

《事務局》 広報の仕方を工夫したいと思います。

《参加者》 学生に声をかけたら。

《参加者》 アメリカの方は貯金をしないらしい。

《参加者》 してくれる、やってくれじゃよくならない。皆が協力して助け合わないとはよくならない。40年前はこの商店街もにぎやかだったし競艇場、鷺羽山に多くの人が来ていた。地元の人が努力しなければいけない。倉敷も児島もいいところだが、よそから来た人を大事にする気持ちがないのでは。まず、隣から仲良くしなければ。助成金をあてにしてはいけない。いいアイデアをみんなで出し合えばいいのでは。

《参加者》 児島地区を良くするために、重点地区を決めてそこを中心にして上げることで児島地区全体を上げていけばいいのでは。重点地区はみんなが集まり動きやすい児島駅から文化センターの線をしっかりするのが一番だと思う。そして、次に使用可能な場所、海員学校、児島高校の跡地なども一緒に利用することを考えたほうが良い。児島の歴史文化をまとめて置くことができる郷土資料館などもあったらよい。今は、学校やむかし下津井回船問屋、ビジターセンターなどにあるが。

産業、観光については、児島は繊維が中心だが、市が繊維に対して何か言うことはできないので民間でがんばるしかないと思う。交通の便や穏やかな季候など立地条件に恵まれた鷺羽山のロケーションなど、それに続くものを立ち上げなければいけないと思う。そのために、児島は標識が少ないので、標識の多いわかりやすい場所にするなどが必要だと思う。

《参加者》 外国の人は意外なところに興味を持つので、われわれの気づかない観光をどうするか。

《参加者》 ホテルと夜景が同時に見れるのは珍しい。

《参加者》 蓮台寺も、四国まで行かなくても・・・。

《参加者》 空いている建物、例えば、幼稚園や大学の跡地、商店街などの情報を集中して管理し、サークルなどが利用できるように出来ればよいと思う。実際に人に入っていただいたほうが人が集まるのでは。鷺羽山ビジターセンターを知らない人も多いので、風の道などもハイキングできるよう整備して、マップなどをつくったりすればよいと思う。龍王山などもとてもよいところ。

=市長あいさつ=

皆さんに今まで知らなかったことをたくさん教えていただきました。皆さんの意見をこれからの市政にしっかり反映させていただきたいと思います。ありがとうございました。